

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2022年(令和4年)2月1日 会報 第121号

特定非営利活動法人(NPO法人)

## 21世紀のカンボジアを支援する会

【AAC21】ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】#9E2,street432,Sangkat Boeng Tumpum,  
Khan Meanchey,Phnom Penh  
(855)78-784-808 (855)17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)



### 「味の素グループ労働組合」が カンボジアに新校舎寄贈

「味の素グループ労働組合」様の資金協力により、昨年8月に着工、11月に完成した小学校校舎(平屋建て4教室)の贈呈式が、12月16日に現地カンボジアで行われた。

贈呈式が行われたのは、「チョロチョロウポテイサル小学校」(クラチェ県スヌオル郡・生徒数=461人)。プノンペンから車で5~6時間もかかる辺境。

贈呈式はカンボジア政府が主催して行われ、カンボジア政府内務省のシアン・ブンレン大臣を始めとする政府関係者、地元クラチェ県知事を始めとする地元関係者、村民、生徒ら約800人が出席し、盛大に行われた。あいにく日本からは参加できなかったが、「味の素グループ労働組合」執行委員長、前田修平様より日本語の挨拶文を頂き、贈呈式の中でカンボジア語に訳して読み上げた。

贈呈式後に、「味の素グループ労働組合」の皆様と、現地小学校の生徒たちがZoomオンラインで交流する予定だったが、Wi-Fi電波が不調のため実現できなかった。

1月10日から新学期が始まったので、生徒たちは新たな気持ちで新校舎で学ぶことができ、とても喜んでいる。



↑あいさつするシアン・ブンレン大臣



↑生徒たちも式に出席



↑立派な4教室の新校舎



↑1月から授業が開始

### 日本人だからできる活動を目指して

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

新しい年を迎え、会員始め支援者の皆様は今年こそ希望の年にと、意を決しておられることでしょうか。私もささやかですがいくつか夢を描き、その実現に向けて頑張ってみようと、胸を躍らせています。

世界に目を転じれば、中国・ロシアを中心とする専制主義国と、先進7か国を中心とする民主主義国とのせめぎ合いが続いています。カンボジアも近年は中国の影響を受け、表向きは民主主義ですが、事実上独裁国家の様相を呈しています。そんな中での現地活動はとて

もやりにくい反面、日本人だからこそできる、見返りを求めないNGO的活動を推進していくつもりです。

経済でカンボジアを席捲する中国には、その発想がありません。ここは日本人の出番と心得、今年も真摯に活動を継続して参ります。

それでも、各国では自国の経済再生を念頭に極端なロックダウンは行わず、コロナとの共生を図る構えです。カンボジアにおいても同様で、フンセン首相は11月にカンボジアへの入国規制を緩和、ワクチン接種証明書とPCR検査陰性証明書を持参すれば、隔離なく入国可能になりました。

そんな訳で1月20日~2月4日、1年3カ月ぶりにカンボジア訪問を計画、この会報が皆様のお手元に届く頃私は寒い日本を離れ、カンボジアで温かな冬を過ごしているはず(笑)。



もうじきマンゴーの季節です  
写真提供:遠藤啓様

### オンライン里子訪問実施中です

カンボジアへの渡航が困難な昨今だが、Zoomによるオンラインでの里子訪問が奏効し、里親さんから好評を頂いている。11月~12月にかけて、5人の里親さんがオンラインで里子と交流することができた。

パソコン又はスマホをお持ちであればZoomは可能だが、初期操作さえクリアできたら、意外に簡単。挑戦してみたい里親さんは、事務局にご相談を。

☎03-3991-2854



楽しいオンライン里子訪問  
写真提供:及川英博様

### カンボジアの子どもたちをサポートしてください

## クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば77年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳  
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)  
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。  
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

里親さんありがとう



Facebookに本会の活動を随時投稿しています

**リアプ・リサーちゃん**  
(女の子)



トベンクポス小学校  
4年生(10歳)

- 両親離婚し、母親のみ。姉が2人いる。現在母親、姉と暮らす。
- 好きなこと=本を読むこと。
- 学校まで徒歩で15分。

**パイト・ファローンちゃん**  
(女の子)



トベンクポス小学校  
4年生(10歳)

- 家族構成=両親離婚し、母親のみ。兄と妹がいる。現在母親、兄、妹と暮らす。
- 好きなこと=本を読むこと。
- 学校まで徒歩で15分。

**ソーン・ヴィサル君**  
(男の子)



トベンクポス小学校  
4年生(10歳)

- 家族構成=両親離婚し、母親のみ。兄2人と弟がいる。現在母、兄、弟と暮らす。
- 好きなこと=サッカーをすること。
- 学校まで徒歩で15分。

**ティアリーちゃん**  
(女の子)



トベンクポス小学校  
5年生(11歳)

- 家族構成=両親離婚し、母親のみ。兄2人と姉がいる。現在母親、兄、姉と暮らす。
- 好きなこと=絵を描くこと。
- 学校まで徒歩で10分。

**キアー・チャンティちゃん**  
(女の子)



トベンクポス小学校  
6年生(12歳)

- 家族構成=両親離婚し、母親のみ。兄と姉がいる。現在母親、兄、姉と暮らす。
- 好きなこと=絵本を読むこと。
- 学校まで徒歩で15分。

### 教育支援をお願いします!

「グメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを、会報紙面で紹介いたします。支援してくださる方は、子どもの名前を添えて、事務局までご一報ください。  
(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)  
また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツィ・マンの教育支援です。

☎03・3991・2854  
FAX 03・3557・1213

### 投稿 パンチャ君のカンボジアレポート

(プノンペン在住、旅行会社経営)

11月16日、カンボジア政府保健省が、入国に関する緩和を発表しました。入国時に必要な書類は、72時間以内に発行されたコロナ陰性証明書と、ワクチンを2度接種した証明書の2種類のみ、空港で行われるクイックチェックが陰性であれば、隔離なしで入国できるようになりました。そのためか、最近プノンペン国際空港のフライト便数が増えてきました。日本からの直行便はまだストップしていますが、もう時間の問題と思われる。



### 長い間のご支援ありがとうございました。

2006年から昨年度までの16年間、ほぼ毎年2基ずつ井戸を寄贈してくれた松原睦美様(北海道、函館市在住)が、この程諸般の事情により井戸寄贈を終了しました。長きにわたり、カンボジアの小学校や村に井戸を建設、その数丁度30基になりました。本当にありがとうございました。カンボジアの子どもたちも、このご恩を一生忘れないことでしょう。

寄贈した年月	小学校名又は村名	地域
2006年5月	チェレイホーブナウ小学校	コンボンスプー県
2006年5月	アムブレピン小学校	コンボンスプー県
2007年3月	カンダールドム小学校	コンボンスプー県
2007年3月	アンタルック小学校	コンボンスプー県
2008年4月	トノールテウン小学校	コンボンチュナン県
2008年4月	アンセレイ小学校	コンボンチュナン県
2009年3月	ブラテウィア小学校	コンボンチュナン県
2009年3月	ウクトム小学校	コンボンチュナン県
2010年5月	クルス小学校	コンボンチュナン県
2010年5月	スワチュロム小学校	コンボンチュナン県
2011年3月	フンセンネアドムロンミ小学校	シアヌークビル県
2011年3月	チュンコル小学校	シアヌークビル県
2012年3月	ターロン小学校	コンボンチャム県
2012年3月	コッタービーム小学校	コンボンチャム県
2013年3月	チョムブルブルック小学校	コンボンスプー県
2013年3月	ターブラップ小学校	カンダール県
2014年3月	ブナウ小学校	コンボンチャム県
2014年3月	ジョン村	コンボンチャム県
2015年3月	スタニークランスキア小学校	コンボンチュナン県
2015年3月	クニアン小学校	コンボンチュナン県
2016年3月	プレーインテープ小学校	コンボンチュナン県
2016年3月	オン小学校	コンボンチュナン県
2018年3月	ワトコキー小学校	トゥボンクモム県
2018年3月	ブレクアジー小学校	トゥボンクモム県
2019年3月	ブレイクロン小学校	コンボンスプー県
2019年5月	セレイソーボワン小学校	コンボンスプー県
2020年6月	ボトムサコー小学校	コンボンチャム県
2020年6月	トゥレイ小学校	コンボンチャム県
2021年5月	トモータオーク小学校	トゥボンクモム県
2021年5月	ドォン村	トゥボンクモム県

松原睦美様  
井戸寄贈の実績(30基)

### カンボジアの小学校に井戸が3基完成

この程カンボジアの小学校に、大型手押しポンプ式井戸3基が完成した。完成したのは、武藤和義様(82歳)・康代様(72歳)(長崎県西彼杵郡長与町在住・里親会員)寄贈の「ワットポン小学校」(コンボンスプー県ボーセト郡、生徒数=329人)、平井喜善様・正子様(東京都瑞穂町在住)寄贈の「トゥールダンヘット小学校」(コンボンスプー県ボーセト郡、生徒数=449人)、サンライズ電設株式会社代表取締役平居幸史様(東京都瑞穂町在住)寄贈の「ブンサラム小学校」(コンボンスプー県ボーセト郡、生徒数=400人)、の3つの小学校。

11月15日、本会の現地スタッフが3校を訪問、井戸の完成を見届け点検したうえで、少人数で簡易な贈呈式を行い、完成を祝った。井戸の深さは平均して約40メートル、ヒ素などの水質検査を実施しているため、生徒や村民には安心・安全な井戸水を提供している。



↑武藤和義・康代様寄贈の井戸



↑平井喜善・正子様寄贈の井戸



↑平居幸史社長様寄贈の井戸

### 投稿 カンボジアに来てみて 下村カズヤ(東洋大学)

カンボジアでインターンをする。そんな普通の日本人がしないようなことを、俺はしている。大学3年生、休学中、カンボジアに来てから1週間半が経った。そんな俺は、サッカーが小さい頃から好きだ。海外で言葉が通じなくても、サッカーで会話してきた。(別にそこまで上手いわけではない)そんな俺は、カンボジアでもインターンをしながらサッカーをする。クメール語は喋れない。でもとりあえずグラウンドに行って、サッカーがしたいと伝えてプレーで会話する。意味のわからないクメール語を言われたり、それに対して通じない日本語で答えたり、お互い意味は分かっていないけど、プレーをしていればともに笑いあうことができる。そんな俺はカンボジアの農村部で、サッカーを教えようと思っている。カンボジアでサッカーは今人気のスポーツだ。農村部でも、サッカーボールを蹴っている少年少女は多い。そんな子たちにサッカーを教えるつもりだ。

### プノンペン、シアヌークビル、高速道路、7割が完成

首都プノンペンと南部の港湾都市シアヌークビルを結ぶ高速道路の建設が、11月末時点で70%完成したという。中国政府系の会社が2018年にカンボジア政府と契約、2023年の開通を目指す。

### ランナリット元首相が死去

故シアヌーク前国王の次男で、カンボジアの第1首相を務めたノロドム・ランナリット氏(77)が11月28日、滞在先のフランスで死去した。1993年に実施されたカンボジア初の総選挙で民族統一戦線(フンシンペック党)を率いて第1党になり、97年まで初代首相を務めた。

### フンセン首相、1月から追加接種を発表

フンセン首相は、1月から12歳以下の子どもへのワクチン追加接種を開始すると発表した。まずプノンペン都から開始。また今後、ロックダウンは行わないとし、学校や市場についても新型コロナウイルスを理由に閉鎖することはないとした。

追加接種

### ウオッチカンボジア



ランナリット元第1首相



## 里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の国会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってもらいます。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させて頂きます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

### 現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500円
・お米(50キロ入り)	4,500円
・通学用かばん	3,000円
・Tシャツ2枚&サンダルセット	2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。

※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

## 里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費の中から6回に分け、米ドルに換金して教育支援金を届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

11月下旬~12月上旬にかけて10月と11月分を、現地スタッフが各学校を回り届けた。

カンボジアの学校は1月に新学期を迎え、生徒たちは新たな気持ちで学んでいる。



支援金を届けました

を危惧する声が出ている。1月10日から、概ね全国の小・中・高校が新学期を迎えた。Zoomによるオンライン里子訪問も順調に行っていて、希望する里親さんが増えてきた。Zoomオンライン里子訪問を希望される方は、事務局にお問い合わせを。☎03-3991-2854



新学期がスタート

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在303人の子どもたちを教育支援している。カンボジアではコロナ患者が減少し、11月から全国の学校が再開した。しかし、12月から年度末休みに入った学校も多く、授業日数の減少

## クメール教育里親基金活動レポート

## 投稿

### M君の思い出(2)

今 紀子(東京都在住、会員)

「M君、文化祭はみんなでカンボジアのダンスを踊りましょうよ。みんなに教えてくださいませんか？」

M君は、ちょっと困ったような表情をしたけれど、翌日カセットテープを持って来てくれた。早速、放課後、練習が始まった。

カンボジアと言えば、アプサラのダンスが有名だけれど、M君がセレクトしてくれた曲は、親しみやすいリズムで、心が軽やかになっていく。くるっと回って右足を出す。みんな喜々として踊っている。ちょっと位まちがったって、ノープロブレムよ。楽しくやりましょう。私は荷造り用の白いヒラヒラのひもを使って腰みのような物を作った。

当日、私たちは腰を振りふり踊った。A子さんは、なぜかいつもみんなと違う方にくるっと回る。それでも私たちのダンスは、大喝采を浴びた。

この時、私はまだ「ボルボト」と言う「事態」について何の知識もなかった。けれど、M君の心の中には、「ボルボト」という棘が突き刺さって、日毎、彼を苛んでいたのだった。

M君には、他の生徒と同じように接していた。修学旅行の時も、彼はみんなと同じように楽しそうにしていた。私にはそう見えたのである。彼から届いた年賀状は、なかなか哲学的なものだった。ダルマの絵を描いて、短い言葉がそえられてあった。

彼が夜間中学校を卒業して、何年か経った頃、ある新聞紙上に載った記事を読んで驚愕したのである。M君の記事だった。M君は、ボルボト少年兵として、余儀なく人をあやめそれがトラウマとなって、うつ状態になっているというものであった。

その頃には、カンボジアの惨状が世界中に発信されていたが、M君がその真っ只中にいた少年だったとは……。 (続く)

## 投稿

### ケップ州で日本人が観光農園オープン

中村善信(プノンペン在住、喫茶店経営)



GREEN DOOR FARM

カンボジアの南西部に位置するケップ州にある「GREEN DOOR FARM」、田中さんご家族が10数年前から開拓を進められ、胡椒農園からスタートされましたが、最近では四季折々のフラワーガーデン、フルーツ農園(パパイヤ、ドラゴンフルーツ、マンゴー)と、観光農園計画が着々と進んでいます。広大な敷地内をいろんな計画を立てられ、準備されています。

胡椒の収穫期は1月から4月までで、これから忙しくなりますね。

みなさま「WWOOF」(ウーフ)制度をご存知でしょうか? WWOOF(ウーフ)の受け入れ先では住まいと食事を提供し、WWOOFER(ウーフアー)さんは労働力を提供します。長期・短期を問わず、自然の中で過ごされるのも素晴らしい経験だと思います。こちらの農園はボランティアワーカーさん大歓迎とのことです。

ケップ州でただ一人の在住登録の田中さんご家族の夢を、応援していきたいですね。

詳しくは私のブログ(なかやんのプノンペン滞在記)に何回も取り上げています。ご覧になってください。

## みんなで学ぼうカンボジア語

### 第1回 タウナー? = どこ行くの?

道端で知り合いに会った時、なんて声をかければいいのか? 自然で一番良く使われる言葉が「タウナー?」だと思います。意味は「どこ行くの?」です。

「ナー」=疑問文に付ける言葉。答える時は「タウ〇〇」と、〇〇に場所や行動を入れれば良いです。例えば「タウプサー」市場へ行く、「タウサラー」学校へ行く、「タウニャムパーイ」ご飯食へ行く、「タウレーン」遊びに行く。

もし答えがわからなくても、身振り手振りで説明すれば良いですし、こちらから聞くのは簡単です。挨拶みたいなものですが、相手の返事がちょっと楽しみですね。道を歩く子どもとかに話しかけてみても、良いと思います。カンボジア語がわかってくると、名回答珍回答があり、ドラマがあるかもしれません。

(青木貴之=カンボジア・光語学スクール総務)



光語学スクールの日本語授業

## 投稿 未来を生きる子どもたちの為に私達がすべきこと(3)

佐々木英介(東京都在住、里親会員)

### 人口問題への対策と支援活動(1)

普段テレビや雑誌などで、やせ細った栄養失調の子供の写真に「一日〇〇円の支援でこの子の命を救えます」といったような言葉が添えられた広告を見かけると、つい私達は心を動かされて寄付をしたくなってしまいます。

思いやりの気持ちを持っている人であれば、それは当然のことでしょうし、支援機関や団体としては、それを見込んでそのような広告を出すわけです。

確かに、それによって死と隣り合わせだった子どもたちの多くが、一命を取り留めることができるかもしれません。が、その後は?

子どもたちに餓えをもたらす原因も、世界人口白書には何度も記されていますが、それによると代表的な例は、極度の貧困と高出生率です。それらの問題を後回しにして命を救い続けていても、前号でも記したように、その子どもたちが初潮年齢に達するやいなや、更に自分たちと同様な境遇の子どもたちを次々と出産し続けてしまい、何のために食糧支援をしているのか、分からなくなってしまうのです。

また、次のような話も無視できません。私の知り合いに、ソマリアの貧困地域で支援を行っている団体に属している人がいて、現地での活動の様子などを話してくれたことがあります。それによると、確かに活動によって多くの子どもたちの命が助かっているようですが、時々行っている追跡調査によって、それらの子どもたちの一部がその後、貧困生活から抜け出す為に軍隊に入り、南スーダンでの虐殺に加担していたというのです。助けたはずの命が逆に、多くの命を奪う事態を引き起こしてしまうという、皮肉な現実です。

つまり、弱者への支援は大切なことですが、支援をしたことによってどのような事態を招く恐れがあるかということまで、支援団体は責任を持って、対処する必要があるということでしょう。(次号へ続く)



### 本会の会員状況をお知らせいたします

(2021年12月末日現在)

●教育里親会員	215名
●個人会員	76名
●団体会員	10団体
●寄付協力者(随時)	64名
合計	365名

### 書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



### 事務局便り

- 前号で「お年玉募金」をお願いしたところ、沢山の皆様よりご協力をいただきました。なお引き続き宜しくお願いいたします。集まった募金総額は次号でお知らせいたします。
- カンボジアの入国規制が緩和、原則ホテル隔離がなくなりましたが、ツアーを組んでの訪問旅行はもう少し先になる予定です。追って会報でご案内いたします。
- カンボジアでは学校に通う生徒へのワクチン接種が進み、1月10日に新学期がスタートしました。今年こそコロナの影響なく、沢山授業が行われますよう祈ります。
- 群馬県桐生市にお住まいの佃井庸八様(98歳・里親会員)が病気により、12月25日に永眠されました。慎んでご冥福をお祈りいたします。詳細は次号でお知らせいたします。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

【りそな銀行】  
練馬支店 普通 40998235

【ゆうちょ銀行】  
019支店 当座 0160916

【口座名】  
21世紀のカンボジアを支援する会

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。  
\* \* \* \* \*

会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【寄付金】  
個人会員(年額5千円)  
団体会員(年額1万円)

会の運営に回す年額  
1万2千6百円(42%)  
1万7千4百円(58%)

【教育里親会員(年額3万円)】  
子どもたちへ直接払う年額

## 活動に参加しませんか

正会員として

## 春さんのカンボジアレポート

～カンボジアの道路工事～

ジェムリアップの街は、年初から道路の給排水管理設工事が始まりました。この街に限らず、カンボジアの街は雨が降ると道路冠水していたので、それへの対策です。特にジェムリアップは観光の街ですので、冠水対策は必至の事でした。フンセン首相肝いりの要件です。



工事中のジェムリアップ市内

武漢コロナ禍なので外国人観光客が居ないので、思い切って道路工事が出来ます。市内全域で一斉に始まり、主要道路は全て掘り返されました。

あちらこちらで車両が走れなくなり、住民は目的地まで迂回迂回の生活です。全域ですので、通行止めしたら、住民生活が滞ってしまいます。なので、通行止めは確かに走れなくなる一方で、ほとんどは工事の重機の脇をバイクで走り抜けます。事故ったら事故責任です。

今回の道路工事では、道路の拡張が同時に行われました。拡張のために住民の敷地は強制提供されますが、補償はありません。塀があれば立て直しも自己負担です。敷地の一部ならまだしも、全部となっても補償なし。住民は泣く泣く自分で移転先を探して転居です。

9年前ですが、かぐや姫も道路拡張で、敷地を1メートル減らされました。補償はなく、塀の作り直しは自腹です!

日本で知人が都市計画で移転となりましたが、補償は勿論で、古物件だったのが新築できたとのこと。羨ましい限りです。

里親会員 鈴木春男(カンボジア・ジェムリアップ在住)

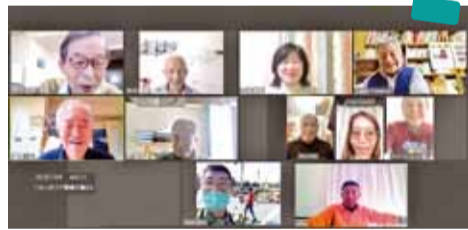
### 学校建設について話し合いました



12月8日、「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」、石川幸夫代表の紹介により、「札幌ポプラ・ライオンズクラブ」の皆さん(4人)と、カンボジアに小学校校舎を建設することについて、新潟市内で話し合いの時をもった。根岸理事長が出席し、現地の様子などについて詳細に説明した。まだ確定ではないが、更に候補地など現地でのリサーチを行い、来年春の完成に向けて準備を進めていく予定。

### オンライン情報交換会を毎月開催

本会では、カンボジア在住の日本人や現地スタッフの協力のもと、現地情報をZoomで紹介する「オンライン情報交換会」を、毎月第1土曜日の午前中に開催しています。12月は4日に、1月は8日に開催、常に15人前後の皆さんが参加しています。



2月は12日、3月は5日の午前10時より開催の予定です。皆様奮ってご参加願います。参加を希望する方は事務局までご連絡ください。スマホやパソコンをお持ちの方なら、どなたでも参加可能です。初心者歓迎、その方法を事務局が伝授します。



### 子どもたちの笑顔

写真提供:遠藤 啓様

好評につき、今号も「子どもたちの笑顔」を掲載します。コロナも終息に向かっており、カンボジアの子どもたちも1月から新学期が始まりました。子どもたちに会える日もそう遠くないでしょう。



きりとり

### 教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日
	〒				
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [ ] 人				
	2. サポートして下さる子どもの性別 ①男子 ②女子 ③どちらでも				
	3. その他 [具体的に ]				

\*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。



本会が寄贈した井戸から家まで水を運ぶ少女 (写真提供:遠藤 啓様)